

侵入生物データベース > 日本の外来生物 > 維管束植物 > ナガエツルノゲイトウ

ナガエツルノゲイトウ

基本・侵入情報

参考資料リスト

基本情報	
和名	ナガエツルノゲイトウ, ミズツルノゲイトウ
分類群	維管束植物 双子葉・離弁花類 ヒユ科 (Amaranthaceae, Caryophyllales, Magnoliopsida, Magnoliophyta)
学名	<i>Alternanthera philoxeroides</i>
英名等	Alligatorweed
自然分布	南米
形態	多年生。茎は長さ0.5～1m, 中空で太さ4mmに達する。基部は横に這いながら枝分かれし発根。葉は対生, 無柄または1～6mmの短柄を持ち, 倒卵形～倒広披針形, 長さ2.5～5cm, 幅0.7～2cm, 細かい鋸歯を持つ。花は白色～灰白色, 球状で12～16mm, 1～4cmの柄があり, 1～2個の花序が葉の腋につく。
生息環境	水路, 河川, 湿地等 温度選好性: 温帯～亜熱帯
繁殖生態	繁殖期: 4～10月に開花 茎切片から栄養繁殖可能。
生態的特性	水草であるが, 乾燥に非常に強い。

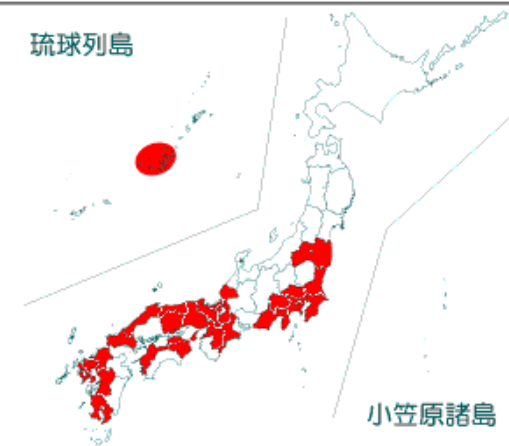
クリックすると拡大画像が表示されます



©大垣内 宏

侵入情報	
国内移入分布	福島, 茨城, 埼玉, 東京, 千葉, 神奈川, 山梨, 静岡, 三重, 福井, 滋賀, 奈良, 京都, 大阪, 兵庫, 岡山, 淡路島, 鳥取, 島根, 山口, 香川, 徳島, 愛媛, 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 鹿児島, 沖縄の各府県。
移入元	不明
侵入経路	アクアリウム等観賞用に意図的に導入後, 野外逸出したと考えられる。
侵入年代	国内で最初の定着記録は, 1989年兵庫県尼崎市
影響	在来植物との競合, 船の運航の阻害など 影響を受ける在来生物: 在来の水生植物
法的扱い	外来生物法で特定外来生物に1次指定された。
防除方法	個体の完全除去。米国では1960年代から天敵導入 (<i>Agasicles hygrophila</i> , <i>Amynothrips andersoni</i> , <i>Arcola malloi</i>) による駆除が行われている。
問題点等	情報整理中
海外移入分布	台湾, オーストラリア, リビア, 米国

琉球列島



小笠原諸島

● 自然分布 ● 自然分布 (絶滅)
● 外来分布 ● 外来かどうか不明
● 在来個体群・外来個体群の両方分布
● 過去に外来分布の記録あり

※必ずしも色が塗られた地域全体に分布するわけではありません
せん
詳細マップはこちら

備考

空心蓮子草や革命草として豚の飼料とされている

令和6(2024)年度 環境省「特定外来生物の市区町村別侵入状況の把握のためのアンケート」調査の結果は, 市区町村単位の分布地図※及び一覧(下記URL)にて参照されたい。

https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/moe2024_0927.xlsx

※都道府県単位の分布地図(本ページ掲載に)は, 学術誌や記事, 通報などをもとに, 標本や画像データを確認して作成されたものである。市区町村単位の分布地図(詳細マップ)は,

自治体へのアンケートをもとに作成されたものである。従って、両者の分布情報が一致しない部分がある。

基本・侵入情報

[参考資料リスト](#)